

川 異 研 通 信

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。昭和62年に設立され、今年で22年目を迎えております。今号は川異研の副会長である小川湧三氏、菅原智照氏をご紹介します。

株式会社 LR小川会計 会長小川 湧三、社長小川 泰延



小川会長

弊社は、川異研設立当初から参加させていただいています。数ある異業種交流会のなかで、20年余の間脈々と研鑽を積み重ねてきた川異研は特異な存在ではないかと誇りとするところです。

異業種交流の当初のねらいは、多くの会員相互間で情報交換し親睦を深めることにありました。しかし、産業構造の変化等に対応して中小企業が生き残っていくため

には、自社の商品の他分野への応用、他社とのコラボレーションによる新しい商品の開発ということが必要となってきます。このよ

うな状況の中で川異研の存在意義は益々高まっているものと思います。

弊社は併設する税理士法人LRパートナーズとともに、前身の小川税務会計事務所時代から、お客さまの繁栄を願い、地域への貢献を基本理念として掲げてまいりました。税務・会計のサポートを通じてお客さまの繁栄に寄与し結果として地域への貢献していくことはもちろんですが、一昨年より始めたインターンシップの受け入れや、川異研という場での活動を通じてより地域への貢献という願いを達成して行きたいと思います。



小川社長

株式会社 菅原電機工業 代表取締役 菅原 智照



わが社は、産業用の電気機器および電気設備の設計製造、工事施工など、産業用設備の電気部分を一貫して行う会社です。産業用と言っても多岐に及びますが、現在、多く手がけさせて頂いているものは、製品運搬機器、半導体製造機器、食品加工機器、合金製造装置、等々になります。個々のエンドユーザー様ごとに、仕様が異なることが多く、一つの製品を作り出すには大変な労力を必要としますが、経験豊かな社員と長年の蓄積によるノウハウで製造コスト面での削減に努めて、厳しい現在の情勢を乗り切ろうとがんばっている企業の一つです。

川崎異業種研究会に私が参加したのは、先代社長に行ってくださいと言われたのがキッカケになります。7、8年ほど前になります。当初は目的とする所が理解できないまま参加していました。会合では、会社経営、社会情勢、地域振興 等を含めた情報

が得られました。この会では、同業組合等の会とは異なり、他の業種を生業にした会社の方が多く、会社間に競合関係がなく、逆に協調関係や協力関係が築ける会社に出会いました。また、私自身、会社経営という大役を担うことになった時、身近に経営者の方々がいた事や会等での苦労話や成功談を聞く機会が持てたことで、勇気を頂いていたのではと思っています。中小企業の継承問題が近年多く聞かれますが、私の経験からは一つの解決要因だったと二代目社長として考えています。



川異研HP → <http://www.kawai-ken.jp/>

加入のお問い合わせは → 事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100